

結シテ其權利擁護ノ必要ヲ絶叫スル所以ナリ本會ハ勞務者トシテ
社會ニ立テ完全ニ自己ノ權利ヲ主張シ且ツ行使スル目的ノ下ニ會員
中ニ悉ル曲折ニ對シテハ概爾好々紙上ニ於テ其意思ヲ委細發表シ社
會一般ノ批判ニ對シテハ法律ノ欠陥ヲ指シ功カヲ實現シ且其弊ヲ糾正
ナリテ自己ノ責任ヲ迴避スルヲ輕視セントスル如キ非人違者ヲ正義ナ
ル社會ヨリ排斥シ且ツ公表ニ於テ辱ヒ之等不徳漢ニ業セラルヲ防
止メントスルニ向テ極力其方策ニ出ワ然レテ勞動立國ノ聲望シキ現
代ニ最モ適應セル社會公共事業タルヲ確信ス作テ以テ諸士ノ加盟ヲ
勸誘シ且レテ團結力ノ偉大ヲ以テ無碍ナル會權擴張者及者ノ實ニ彼
レ以テ社會改良促進ノ舉ヲ保ニメントス者ニ諸士ノ加盟一人タリト
モ多クテ一二年ヲ切望ス

大正十一年七月十五日

純正労働者會